様式第４号

令和　７年　４月　18日

宗像市長　あて

提案団体
住所

電話番号

名称
あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ

代表者氏名　　林田　公子

法定代理人

氏名　　㊞

提案事業企画書

全事業一覧表の事業番号・事業名	事業番号	（複数の事業を組み合わせる場合は全ての番号を記入してください。 1445	
	事業名	「母子保健事業」	
提案の種類	☑令和７年度事業開始コース		□令和８年度事業開始コース
提案事業の名称	子育てのはじめのいっぽ事業		
事業の実施期間	令和　７　年度 ～ 令和　１０　年度		

受理
7.4.18
92

提案する事業の内容	少子高齢化の影響で、他の人の子育てをしている様子を見ることがなくなり、子育てを学ぶ機会が減ってしまった。我が子を抱くまで赤ちゃんに触れたことがない人も多くなっている。また、出産後の赤ちゃんがいる生活のイメージを持てていない人も増えている。そんな状況で子育てをしているため、育児に悩み、子育てが辛く、孤独を感じている人が多い。赤ちゃんの育ちを知って子育てをスタートする仕組みを作り、育児を含む日常生活で交流できる機会を設けることで、親子の愛着形成を促し、産後うつや虐待の防止につながる。 また初めての子育てを安心してスタートさせ、仲間をつくり孤立しないよう、様々な子育て支援をしている団体と連携して、切れ目ない支援をすることで、安心して子育てできる環境をつくる。 具体的事業、 ・はじめのはじめのいっぽセミナー ・子育て講座 ・フリースペース（連携事業）
満たすべき基準について	（ア）市と民間団体等がそれぞれどのような役割により、提案事業を実施していくか、以下に記入してください。
	・宗像市と協働で開催することで、信用度が高まり、参加者が安心して参加することができる。 ・子育て経験者がスタッフになることで、保護者の気持ちを理解し寄り添う伴走型支援ができる。また、専門知識を活かして適切に対応することができる。 ・はじめのはじめのいっぽセミナーや、フリースペースの中で「食」の提供をすることで、食べる内容だけではなく、食べさせ方や、家族のだんらんなど食育について伝え、親子、家族のウェルビーイング向上につなげる。 ・活動の中で問題のある子どもや家族を発見した場合等、すぐに行政に相談しつなぐことができる。
	（イ）提案事業を実施することにより、市民サービスの質などがどのように向上されるか、以下に記入してください。
	第３次宗像市総合計画では、「子どもの権利が保障され、健やかで自分らしい育ちが守られるこどもにやさしいまち」を掲げ、「妊娠前から妊娠・出産・子育て期まで、切れ目ない支援を行い、子どもが自分らしく心身ともに健やかに成長できるまちを目指します」とある。 計画の実現には、妊娠前から赤ちゃんを一人の人間としてとらえ、接することが必要であり、保護者が赤ちゃんのことを理解し、周りの人に支えられながら安心して自分らしく子育てができる環境をつくることが必要不可欠と言える。 産前から赤ちゃんがいる生活をイメージし、あかちゃんの育つ力を知り、一人ではなく、助け合いながら子育てできる環境をつくり、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を実施することで安心して子育てできる環境をつくる。子育てしやすいまちになれば若い世代の定住化にもつながる。

	（ウ）提案団体はどのような体制で提案事業を実施するか、以下に記入してください。
	当会に加え、ママボラむなかた、子ども支援ネットワークWithWind、子どもの居場所ネットワーク、NPO法人むなかた子ども劇場などと連携して、それぞれが得意な分野を担当し事業を実施する。
	（エ）提案団体の特性を生かし、どのように協働・コミュニティ活動の推進、または専門性が著しく高いサービスの提供が図れるか、以下に記入してください。
	当会は、赤ちゃんから中高生までの子どもとその家族の支援を長年してきたメンバーで構成されており、産前から就学前までの子どもの成長段階に応じて行う支援を行うことができる。今後、継続的に切れ目のない支援ができるよう他団体とも協力して事業を進める。 当会メンバーは以下の通り。 IPPOリーダー資格、IPPOアドバイザー資格、シェルハブ・メソッド国際公認指導者、保育士、ベビーマッサージインストラクター、おんぶと抱っこ指導者、看護師、小児科医、教師、プレイワーカー、防災士など極めて専門性の高いメンバーで構成されているため、子どもの健やかな成長発達を促し、多面的に支援することができる。 チーム内で情報共有し、必要な支援は何かを相談しながら、子どもの最善の利益を考え、保護者が楽しい育児が出来るよう支援を行う。
	（オ）提案団体が実施することで、どのように、より適正なコストで効率的な行政運営ができるか、以下に記入してください。
	専門職のスタッフを時給で活動してもらえる。 団体が行うことで継続的にスピード感を持って活動することができる。 伴走型支援をすることで、様々な問題を早期発見しやすく、適切に市につなげることができる。 健全な親子が増えれば、行政の負担（金銭的支援も相談などの時間的拘束）を減らすことができる。

期待される効果	以前は、自然と子育てを学ぶ機会があったが、少子高齢化の影響で、その機会も減り、我が子を抱くまで赤ちゃんに触れたことがない人も多くなっている。 学校教育の中でも保育についての授業はあるが、赤ちゃんの育ちについては学ぶことがなく、赤ちゃんのことを知らないまま子育てをしているのが現状である。 近年の傾向として不妊治療で子どもを授かるケースが増え、出産がゴールととらえる親も多く、その後の赤ちゃんとの生活のイメージが持てていない親も増えている。 日常の生活の中で時短やコスパなど、効率的なことが良いとされる風潮の中で子育ては、時間のかかる根気のいる作業であり、すぐには考え方や行動を変えられない。 そんな現状の中で子育てをしているため、育児に悩み、子育てが辛く、人に弱音を吐けずに孤独を感じている人が多い。 赤ちゃんの育ちについて知り、育児中の人同士がつながり悩みを共有することで気持ちが軽くなり、安心して自分らしく子育てができるようになることで、産後うつや虐待の防止につながる。 こども家庭庁が「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的ビジョンはじめの100か月の育ちビジョン」を示し、妊娠してから小学校1年生の100か月が、人生の幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすために特に大切な時期だとしている。最初の100か月を切れ目なく支援することで、こどものウェルビーイングの向上と、安心して子育てをスタートし、その後も自分らしく楽しく子育てできることで保護者や家族、しいては地域のウェルビーイングの向上にもつながる。 子どもの最善の利益が保証されのびのびと育った子どもたちは、より良い宗像の未来をつくる力になる。楽しく子育てする様子がまちじゅうで見られるようになれば、自然と乳幼児などに触れる機会が増え次世代の育成につながる。自分らしく楽しく子育てする保護者は、宗像市の住みやすさを発信し、さらにより良いまちをつくることに寄与する。
添付書類	☑提案事業実施スケジュール ☑提案事業に関する支出計画書
宗像市市民活動団体登録	☑ 済

＊太枠内に入りきれない場合は、別紙に記入して下さい。

（参考様式）

市民サービス協働化提案制度 事業実施スケジュール

（ 事 業 名　　子育てのはじめてのいっぽ事業 ）

月	日	事業内容等	備　考
		・はじめのはじめのいっぽセミナー 第1子、2ヶ月から4ヶ月の親子対象 1クール　インタビュー+セミナー6回 年間5クール実施(1.2クールは人まち補助金) 第3クール　9/3.10.24.10/1.8.15.22 第4クール　10/29.11/5.12.19.26.12/3.10 第5クール　2/4.18.25.3/4.11.18.25 講座終了後　同窓会開催 (第1.2クールは人まち補助金) 第3クール　11月予定 第4クール　1月予定 <u>講座</u> ・子育て講座　年3回開催（1回2時間） 防災セミナー、おもちゃセミナー 小児科医懇談　など	

（ 団 体 名　あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ ）

（参考様式）

市民サービス協働化提案制度 収支計画書

（事業名　子育てのはじめのいっぽ事業　）

（団体名　あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ）

	項目	金額	摘　要（内訳・積算根拠）
収入	① 委託料	498,000 円	
	② 参加費	58,500 円	いっぽセミナー　1,000 円×12 組×3 クール＝36,000 円 子育て講座・小児科医懇談会　500 円×15 組×3 回＝円 22,500
		556,500 円	
	収入合計	円	
支出	① 報償費	105,000 円	シェルハブメソット国際指導者 5,000 円×1 人×18 回=90,000 円 子育て講座講師　5,000 円×1 人×3 回＝15,000 円
	② 旅費	0 円	
	③消耗品費	15,000 円	ベビーマッサージオイル　1,500 円×2 本×3＝9,000 円 いっぽセミナーおやつづくり材料　1,000 円×2 回×3=6,000 円
	③ 印刷製本費	0 円	
	④ 通信運搬費	0 円	
	⑤ 使用料・賃借料	0 円	
	⑦保険料	0 円	
	⑧賃金	378,000 円	いっぽセミナー　24 日×5 人×1,000 円×3 時間＝360,000 円 子育て講座　3 回×2 人×1,000 円×3 時間＝18,000 円
	支出合計	498,000 円	
当　期　収　支		58,500 円	